

令和5年度草牟田幼稚園「自己評価」結果について

各項目ごとの平均点としては、多くの項目で中間の2.5ポイントを超えていますが、「あまりよくできなかった」・「ほとんどできなかった」と回答した項目もあります。その項目を本園の課題と捉え、今後、改善を図ってまいりたいと思います。

評価

4：とてもよくできた 3：ほぼできた 2：あまりよくできなかった 1：ほとんどできなかった

番号	評価項目	4	3	2	1	平均
	【教育目標】					
1	日々「まことの保育」の実践に努め、常に自らを省みているか。		71	29		2.7
2	幼児の意欲を育て、思いやりとたくましさを持った「生きる力」の基礎づくりに努めたか。	14	72	14		3.0
3	幼児一人一人を大切に、幼児と共に育ちあうことに喜びを感じることができたか。	71	29			3.7
4	毎月の「主題」や「お約束（4項目）」を保育の中で生かしたか。		71	29		2.7
	【教育過程の編成・実施・反省（評価）】					
5	園の教育課程に基づき、年間を通して計画的に保育の充実に努めたか。	29	42	29		3.0
6	個々の幼児の発達の特性に即した指導・援助の改善・工夫に努めたか。	14	72	14		3.0
7	幼児の主体的な遊びを通して、5領域の総合的な指導に努めたか。		72	14	14	2.6
8	自然体験や社会体験の活動を取り入れ、心の教育や知的発達を促す教育を計画的・意図的に実施できたか。		57	43		2.6
9	小学校への接続を意識した教育過程の編成・実施ができたか。		57	43		2.6
	【保健・安全・食育・環境教育】					
10	毎日の健康観察や健康管理、衛生管理、健康診断等の保健指導に留意したか。	29	71			3.3
11	危機管理マニュアルに即し、その活用を図れたか。		71	29		2.7
12	遊びの安全や交通安全、防火・防災対策と指導、環境美化や生理整頓に努めたか。	29	71			3.3
13	幼児が健康・安全に関心を持ち、必要な習慣や態度、危険予知能力等を身に付けられるように配慮したか。	14	72	14		3.0
14	食前の手洗いや配膳、食事のマナーや食事の楽しい雰囲気づくり、栄養等について、幼児の発達に応じた食育指導に心がけたか。	43	57			3.4
	【学級経営】					
15	学級経営は、園の教育方針に即して学級集団が生き生きと活動できるように、たえず創意工夫したか。	14	72		14	2.9
16	保育室や園庭は、幼児が楽しく過ごせる場として、また幼児に好ましい影響を与える場としての教育的かつ保健上の配慮ある環境構成に努めたか。	14	57	29		2.9
17	同年齢学級間や異年齢（たて割）学級間のチーム保育等の実施に心がけたか。	29	42	29		3.0
18	特別支援教育にかかる個別の指導・支援計画を作成し実践できたか。		86		14	2.7
19	一人一人の発達特性に応じ、遊びを通しての総合的な指導に努めたか。	71	29			3.7

	家庭や地域社会，小学校等との連携					
20	家庭連絡帳やクラスだより，電話等による家庭との連絡は，もれなく確実に実施できたか。	43	43	14		2.9
21	保護者との教育相談や情報提供は，きめ細かに行き，信頼を高めることができたか。	14	72	14		3.0
22	地域との交流を進め，子育て支援に前向きに取り組み，地域から信頼される幼稚園づくりに努めたか。		57	29	14	2.4
23	小学校との連携・交流を計画的に，効果的に実施できたか。	13	29	29	29	2.3
24	地域の自然や文化財・人材等の活用に努めることができたか。		57	14	29	2.3
	【園務の処理】					
25	指導要録や出席簿，転出入児等の事務処理は正確にできたか。	43	43		14	3.1
26	月・週の指導計画を作成し，保育日誌を毎日適切に記録したか。	72	14		14	3.4
27	分掌した園務を計画的，積極的に確実に処理し，また，会計簿や金銭の取り扱いが正確に処理できたか。	57	29	14		3.4
28	提出物は，提出期日を厳守し，的確に処理できたか。	43	43	14		3.3
29	出勤簿の押印や勤務処理等について，適切に処理できたか。	29	42	29		3.0
	【服務態度】					
30	あいさつや電話への対応等，言葉づかいに気をつけ，いつも明るい態度で過ごすことができたか。	43	57			3.4
31	出勤状況，時間励行，勤務態度は良好であったか。	57	43			3.6
32	園全体の運営について，建設的・創造的な意見を述べ，教師間の協調・協力づくりに努めたか。	14	72	14		3.0
33	園がまとまった組織体として機能するため，常に報告・連絡・相談（報・連・相）に努めたか。	14	72	14		3.0
34	公私の区別を明確にし，物事を公正に処理できたか。	43	57			3.4
35	教育者としての責務を自覚し，園外研修等に参加するなど，専門職として常に自己の資質向上に努めたか。	43	57			3.4

総括

- 領域で見ると，「教育過程の編成・実施・反省（評価）」と「家庭や地域社会，小学校等との連携」の評価が昨年度と同様，やや低い結果であった。
- 上記の領域を項目で見ると，
 - 「教育過程の編成・実施・反省（評価）」では，「幼児の主体的な遊びを通して，5領域の総合的な指導に努めたか」，「自然体験や社会体験の活動を取り入れ，心の教育や知的発達を促す教育を計画的・意図的に実施できたか」，「小学校への接続を意識した教育過程の編成・実施ができたか」の項目が2.6で他の項目に比べ低かった。
 - 「家庭や地域社会，小学校等との連携」では，「小学校との連携・交流を計画的に，効果的に実施できたか」，「地域の自然や文化財・人材等の活用に努めることができたか」の項目は，昨年度同様低かった。新型コロナウイルス感染症も第5類に移行されたが，この項目はどの程度で実施できればよいのか評価も難しい項目だと思われる。市幼・保・小連携研修会は，幼稚園の保育参観，小学校の授業参観と研究協議を対面で実施することができた。